

BALL TEST DATA

【セールス資料】

BALL NAME: PHAZE III



2019年9月5日

COLOR : OBSIDIAN / JADE / ORCHID

COVER STOCK: R3S™ HYBRID REACTIVE

RG : 2.48(MED/15P) Δ RG:0.051 (HIGH/15P)

FACTORY FINISH:1500-Grit Polish

TRACK FLARE POTENTIAL : 5-6"(MED HIGH)

BACK END:18 LENGTH : 16 (1-20)

O	LONG			
I	MEDIUM			
L	SHORT			
		Light	Medium	Heavy

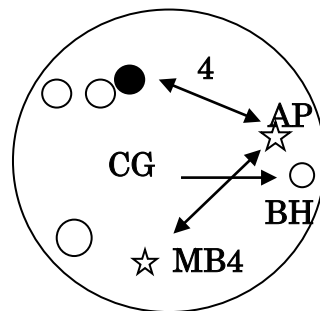
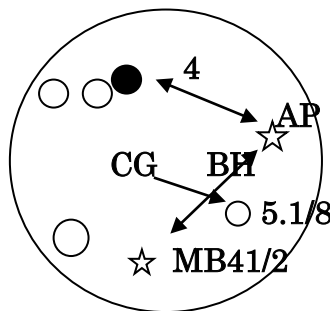
適正レーンコンディショニンググラフ

【MEDIUM OIL 編】

レイアウト例

PHAZE III

PHAZE STAR

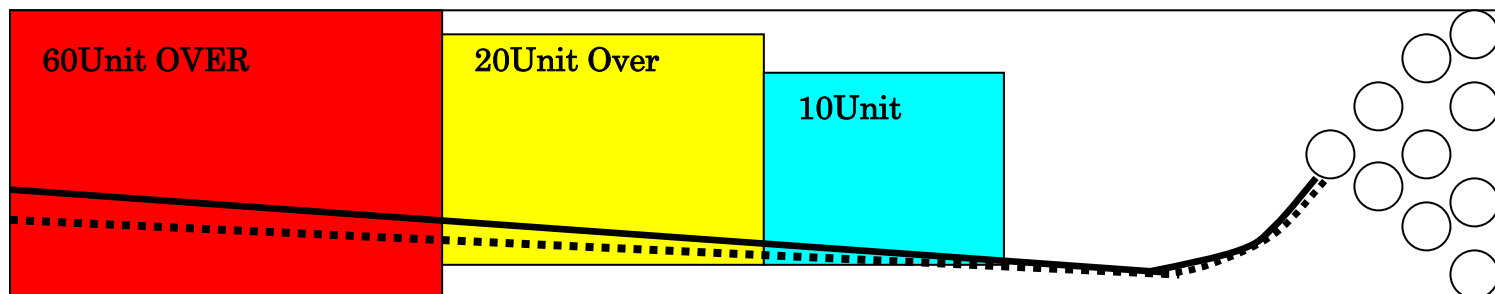


CA52.5度/PSA2

CA52.5度/PSA2

フラー幅 最大 6 3/4 ・ 間隔 1/8

最大 6 3/4 ・ 間隔 1/4



0F

15F

35F

40F

比較品ライン

PHAZE III

PHAZE STAR

【レーン状況】 アンボイでのドレッシングに手前をスプレーオイルで増量。
バックエンドはクリーン状態でメンテ仕立てのレーンです。

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アーク	1	2	3	4	5	シャープ
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強さ	1	2	3	4	5		
ピンアクション	1	2	3	4	5	テスト品	○						

*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)

【ボール総合評価】

フェイズシリーズの最新作は R3 素材がベースで PHAZE STAR の時にも感じた直線性能は非常に強いのですがオイルに強い分ストロングアーク状の曲りが得られます。セントリピタルコアよりバックエンドが大人しく C3 コアより切れが無い中間帯に位置して使い易さは抜群ですね。

【ここがポイント】

VELOCITY コア搭載の PHAZE シリーズの使い方は、基本オイルに強いカバーであれば手前のオイルが厚くバックエンドがクリーンな時に最適で、今作の R3S ハイブリッドカバーであれば、レーンインサイドとアウトサイドの差が大きい時やドレッシングが短くピン前がクリーン過ぎる時に非常に有効だと思います。私も全日本の難しいと言われたミディアムコンディションでの投球の際に非常に重宝しています。先にも記載しましたがマーヴェル系と IQ 系の中間に位置するので使用出来るレーン幅は多く、様々なボウラータイプにマッチする製品でしょう。

発売予定 : 2019 年 11 月中旬 希望小売価格 ¥49,000 円 (税別)

石原 章夫プロ 【(株)ハイ・スポーツ専属プロボウラー】 テスト協力センター : アイビーボウル向島

